

ほすびたる

秋号 創刊号

2003.11



新豊岡病院完成予想図

広報紙の発行に添えて



公立豊岡病院組合 管理者 中 貝 宗 治

「人は知っているものしか愛せない。」という言葉聞いたことがあります。豊岡病院組合の病院は、質の良い医療を提供することはもちろんですが、自らを語り、知っていただき、叱咤激励を受けながら、これまで以上に「愛される病院」へと高めていく必要があると私は考えています。そのような観点から、この度、各病院の方針や近況等を住民の皆様にお伝えする広報紙を発行することといたしました。

中核となる豊岡病院も、誕生から今年で133年目を迎えました。設立当時は豊岡県の医局であったこの病院も、今では1市9町で構成する「豊岡病院組合立」となり、また、豊岡病院組合は、豊岡病院、日高病院、出石病院、梁瀬病院、和田山病院という5つの病院をかかえる大組織へと発展を遂げています。

経営環境はますます厳しくなっていますが、「人々の健康を守る」という原点に立って、皆様方の期待に応え続けられるよう、職員一丸となって努力してまいります。ご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

公立豊岡病院組合のご紹介

公立豊岡病院組合とは？

「病院組合」とは、地方自治法に基づいて医療行政を共同処理（病院経営）するために設置された「特別地方公共団体」で、正式には「一部事務組合」と言われます。

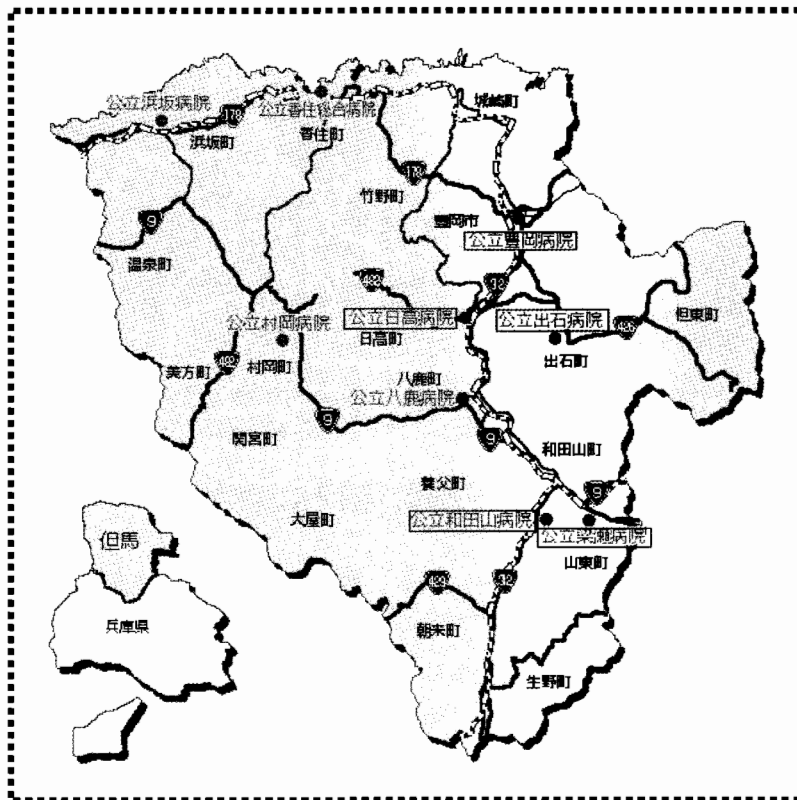
現在の構成団体は、豊岡市、日高町、城崎町、竹野町、出石町、但東町、生野町、和田山町、山東町、朝来町の1市9町です。

公立豊岡病院組合は、公立豊岡病院、公立日高病院、公立出石病院、公立梁瀬病院、公立和田山病院の計5病院を経営する広域的な一部事務組合として、全国屈指の規模と歴史を誇っています。正規職員数は1,100人、総許可病床数は993床です。

病院組合の経営理念は？

公立豊岡病院組合では、下記の経営理念を掲げ、医療の充実と経営の健全化に取り組んでいます。

1. 公立豊岡病院組合は、地域住民の健康な生活を支える中心的役割を果たすとともに、他の関係機関との適切な機能分担と密接な連携を通じて、地域の保健医療福祉の向上に貢献する。
2. 公立豊岡病院組合は、自治体病院としての使命に情熱を燃やす職員集団を形成し、顧客の満足度を重視した良質な医療サービスの提供を図る。



公立豊岡病院	〒668-8501 豊岡市立野町6番35号 TEL0796-22-6111 E-mail : webmaster@hospital.toyooka.hyogo.jp URL : http://www.hospital.toyooka.hyogo.jp/
公立日高病院	〒669-5302 日高町岩中81番地 TEL0796-42-1611 E-mail : hidahpkn@hk.sun-ip.or.jp
公立出石病院	〒668-0263 出石町福住1300番地 TEL0796-52-2555 E-mail : izusi-hp@hk.sun-ip.or.jp URL : http://www.hk.sun-ip.or.jp/izusi-hp/index.htm
公立梁瀬病院	〒669-5197 山東町矢名瀬町900-1番地 TEL079-676-3157 E-mail : yanase@yanase-hp.com
公立和田山病院	〒669-5252 和田山町竹田2021番地 TEL079-674-2021 E-mail : hptakeda@hk.sun-ip.or.jp

： 組合立病院のご紹介 ：

公立豊岡病院

所在地	豊岡市立野町6番35号
許可病床数	一般495床、精神100床、感染4床、計599床
診療科目	24科（内科・精神科・神経内科・呼吸器科・消化器科・循環器科・リウマチ科・小児科・外科・整形外科・形成外科・脳神経外科・呼吸器外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科・こう門科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・歯科口腔外科）
併設施設等	兵庫県但馬救急センター、精神科デイ・ケアセンター、兵庫県但馬老人性痴呆疾患センター、新生児センター

ごあいさつ



病院長 竹内 秀雄



公立豊岡病院は明治4年開設以来、130年あまりの歴史を持つ但馬の中枢病院で、兵庫県内の公立病院の中で2番目の規模を持った総合病院です。診療内容も高度で専門性の高い内容を有し、特殊医療として精神医療、救急医療、周産期医療、感染症医療を扱っています。

そのような中で、当院は、これから急性期の疾患（救急疾患、心疾患、脳血管疾患）、癌や難病、形成外科、泌尿器科など専門性の高い疾患を中心とした医療を行うため、さらに充実した医療体制（高度機器、専門医の補充など）を整えたいと思います。なお、専門科ばかりでどこの科を受診すればよいのか分からないときは、この4月より総合内科を開設しましたので、そこに受診、相談してください。

このような取り組みを推進していくために当院は、地域の医療機関と連携を進め、一つの病気を初めから治るまで一貫して診るのではなく、落ち着けば他の病院や開業の先生に診ていただく、悪くなればまた診させていただくという方向を考えていますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。

公立日高病院

所在地	城崎郡日高町岩中81番地
許可病床数	一般150床
診療科目	7科（内科・小児科・外科・眼科・産婦人科・放射線科・リハビリテーション科）
併設施設等	人工透析センター、健診センター



ごあいさつ



病院長 安本 詔夫

日高病院は、昭和22年に公立豊岡病院日高分院として開設され、その後、病棟の増築を行い、昭和40年に公立日高病院に名称変更しています。現在

は、ベッド数150床、入院診療科として、内科、外科、産婦人科、眼科の4診療科があり、地域に密着した医療を提供している病院です。そして、北但馬地域における生活習慣病、特に高脂血症、糖尿病、肥満、高血圧症の予防から治療、在宅医療までの包括医療を提供するセンターとして、これら生活習慣病に対して総合的な診療を行っています。また、但馬地域で最大の人工透析室（58床）や宿泊可能な健診センターを併設して人間ドック等への対応も行っていきます。

なお、現在、入院病床の環境改善と慢性期の療養を主体とした医療の必要性から、平成17年1月の完成に向けて、病棟の改修と療養病床の増築工事を順次進めています。工事期間中においては、当病院をご利用いただく方々に何かとご不便をおかけしますがご理解いただき、今後とも、住民の皆さんのご要望に応え、地域に親しまれる病院として努力していきたいと考えていますのでよろしくお願い申し上げます。



公立出石病院	
所在地	出石郡出石町福住1300番地
許可病床数	一般55床
診療科目	5科（内科・外科・整形外科・放射線科・リハビリテーション科）



ごあいさつ

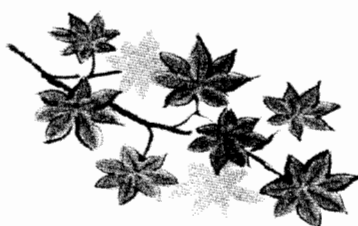


病院長 倉橋卓男

公立出石病院は、昭和25年に公立豊岡病院出石分院として発足し、平成13年には創立50周年を迎えました。発足以後、「医師確保の困難さ」から長い期間低迷した時期がありましたが、近年では、医師の確保がどうにか維持でき、ようやく本来なすべき病院の役割を担えることができるようになりました。

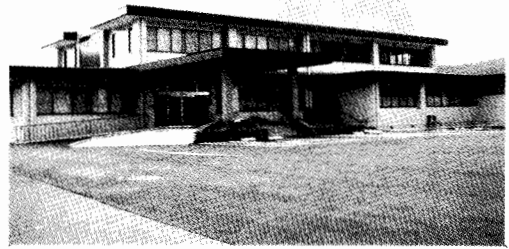
そのような中で、平成5年10月に策定された「出石町福祉ゾーン第一期整備基本計画」に基づき、保健福祉センター・特別養護老人ホーム整備に続き、出石郡の基幹病院としての高度医療機器の設置とアメニティの高い医療施設として平成10年3月に移転新築オープンしました。医療のみでなく保健・福祉も包括したゾーンが完成し、さらに、訪問看護ステーション・老人保健施設・薬剤センター・特殊科開業医整備と続き全国的にも類をみない包括的・総合的ヘルスケアサービスを提供できるゾーンと成長しつつあります（出石ホスピタウン）。

地域密着型の出石病院は、一般的な疾病・中等度までの救急疾患だけでなく、検診業務を含めた保健事業や高齢化の中で介護福祉関係と連携し、地域在宅ケアまで途切れる事のない医療サービスを提供し、患者様に対しての高い満足度を実現するため、なお一層の努力をしていく所存です。ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



公立梁瀬病院

所在地 朝来郡山東町矢名瀬町900-1番地
許可病床数 一般50床
診療科目 4科（内科・外科・眼科・放射線科）



ごあいさつ



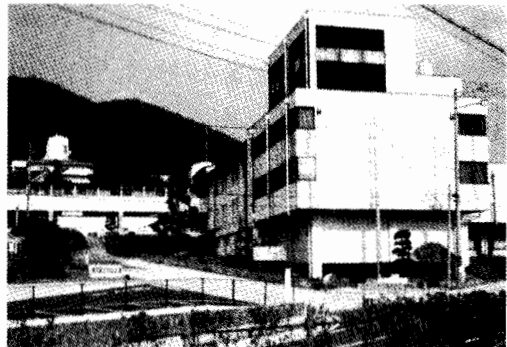
病院長 木山佳明

公立梁瀬病院は昭和37年に開院し、昨年創立40周年を迎えました。同じく昨年は2年の工期を経て病棟の増築と外来本館を新築し、最新のヘリカルCTを導入するなど療養環境の整備、医療機器の充実を行いました。山東町を中心に和田山町・朝来町、隣接する京都府夜久野町を主な診療圏としており、地域密着型の医療を展開しています。

当院はベッド数50床と、公立豊岡病院組合設立の5病院の中で、最も小規模な病院ではありますが、地域に出かけての健康教室の開催や住民検診の実施、また、その後の精密検査・治療まで行う包括的な医療を目指しています。地域住民の皆様の健康を守っていくため、病院がやるべき課題はたくさんありますが、職員一同、誠心誠意努力いたします。梁瀬病院は、「小さいからこそ出来る、きめの細かい患者様本位の医療」を目指して頑張っております。

公立和田山病院

所在地 朝来郡和田山町竹田2021番地
許可病床数 一般103床、療養36床、計139床
診療科目 12科（内科・循環器科・リウマチ科・消化器科・外科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・眼科・皮膚科・放射線科・リハビリテーション科）



ごあいさつ



病院長 恒成 徹

公立和田山病院は、昭和42年に北兵庫整形外科センターとして開設され、但馬地域の整形外科専門病院として運営していましたが、地域の要望もあり昭和56年には内科を、更に平成元年に外科、平成2年には眼科と相次いで新設を行い、名称も公立和田山病院となり、現在に至っております。

我が国の医療制度は大きな変革の時期を迎えており、そのような中で高齢化の進む地域にあっては、急性期の疾病に対する治療ばかりでなく、慢性期の療養を主体とした医療の提供をともに行う必要があると考え、平成14年6月には兵庫県内の公的病院としては初めて療養病床を開設しました。また、健康増進のための啓発活動や検診事業など疾病の予防、早期発見、早期治療につながる活動も行っており、地域住民の皆様とのコミュニケーションを図ることが大切であると思っております。このような医療提供、医療活動を通じて地域に根ざした、地域住民の皆様信頼される病院づくりに今後も努力してまいります。

人間ドックのお知らせ

ガンや心臓病、糖尿病などの生活習慣病から自分を守るためには、定期的に健康診断を受けることが大切です。人間ドックは、心身ともに健全な社会活動ができるような健康を維持するため、疾病の早期発見はもちろんのこと、自分の身体の健康状態を知り、病気にかかりにくい生活習慣への改善など、総合的な健康管理を行うことが目的です。

公立豊岡病院組合では、日帰りでの人間ドックを全5病院で、1泊2日での人間ドックを豊岡病院と日高病院で、脳ドックを豊岡病院で実施しています。また、日高病院では、一般の外来とは別に健診センター内で健康診断を行っています。

病院によって、検査項目・金額及び実施日時などが異なりますので、詳細はお電話等でご確認ください。

【1泊2日コース・日帰りコース】

検尿、検便、血液検査、胸部X線、心電図、エコー検査、胃カメラ（胃透視）、眼科、聴力など

【脳ドックコース】

検尿、血液検査、心電図、脳血管検査

*この他に、前立腺検診、歯科口腔検診などオプション検査も実施しています。



日高病院 健診センター内



快適な排尿のために

豊岡病院 泌尿器科

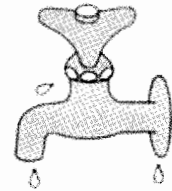
本来、排便や排尿などの排泄はある種の快感を伴うものですが、異常の場合にはこれほど苦痛なものもありません。近年、高齢化社会の到来に伴って、排尿異常を訴える患者さんも急速に増えてきています。ここでは、排尿の異常について述べさせていただきます。

尿は、1日約1,000~1,500mlが腎臓で血液中の老廃物をろ過してつくられ、左右の腎臓から細い尿管を通して膀胱に運ばれます。膀胱では300~400ml程度貯められ、尿意を感じた後、尿道を通して排泄されます。従って排尿の主役は膀胱と尿道で、特に膀胱の機能が重要です。膀胱には、尿を貯める蓄尿と排出する排尿の2つの機能があり、膀胱の収縮と尿道括約筋の調和によりなされます。



1. 症 状

排尿の異常には、頻尿、排尿困難、尿失禁、排尿痛などの症状があり、これらは種々の疾患で起きますが、2つ、3つが組み合わさることが普通です。



頻 尿

正常の排尿回数は1日4～8回で、10回以上は頻尿と言えます。睡眠中に排尿のために起きるのが2回以上であれば異常で、夜間頻尿と言います。頻尿は、膀胱が小さいとか残尿がある場合、炎症や腫瘍などで膀胱が刺激されるためなどで起こります。病気としては膀胱炎、膀胱過敏症、前立腺肥大症、前立腺癌、膀胱癌、神経因性膀胱（脳脊髄や膀胱の神経の障害にて起きる）などです。

排 尿 困 難

排尿困難は、膀胱の収縮が悪いとか、尿道の通過障害が原因で排尿時に尿の出にくい症状をいいます。また、排尿困難があるとき、残尿を伴いやすく、尿が全く出ず、膀胱にたまった状態（尿閉と呼ぶ）になることもあります。排尿困難は、前立腺肥大症や尿道狭窄、神経因性膀胱などで起こります。

排 尿 痛

排尿痛は、通常膀胱炎によるもので、細菌の感染により起こり、血尿や膿尿（白く濁った尿）を伴います。

尿 失 禁

尿失禁は、不随意的尿の流出（尿漏れ）のことですが、漏れ方により溢流性、切迫性、腹圧性の3つの型があります。溢流性尿失禁は尿閉に伴ってみられるもので、尿閉となった後に膀胱が一杯になり、溢れて尿が流出する状態です。前立腺肥大症や神経因性膀胱などで起こります。切迫性尿失禁は尿意切迫（尿意を感じると我慢できない状態）に伴った尿失禁で、強い尿意をもよおすと、トイレに間に合わず失禁してしまうものを言います。膀胱の収縮の抑制ができないため、脳血管障害の後遺症としてよくみられます。腹圧性尿失禁は腹圧を上昇させる動作、たとえば咳、笑い、体動、いきみなどで尿が漏れることをいいます。女性に多くみられ、65歳以上の女性では約30%あると報告されています。そのほか外傷や手術により括約筋が破壊された場合に起こる真性尿失禁もあります。



2. 診 断 ・ 治 療

以上のような排尿の異常があれば種々の検査をして、その上で薬物治療や手術療法を症状、病状に応じ選択します。薬物治療も最近はいろいろ有効な薬剤が開発され、有用です。また手術療法もより負担の軽い、安全な方法も確立されています。

頻尿や尿失禁は歳をとれば当たり前と言われますが、患者さんにとってつらい病気で、適切に治療すればもとの快適な排尿を期待できます。近くの内科の先生に相談されるか、直接当院泌尿器科においでください。なお、最近、症状の少ない早期の前立腺癌が容易に見つられるようになってきました。併せてご相談ください。

泌尿器科外来診療 豊岡病院 月曜日～金曜日、和田山病院 水曜日

新豊岡病院移転新築整備事業について

但馬の人々の健康を守り、安らぎのある、
地域に根ざした、信頼される病院を目指します！

豊岡病院の改築の必要性

公立豊岡病院は、明治4年の開設以来、但馬地域の基幹病院として、住民の『生命と健康』を守る大きな役割を果たしてきました。

しかし、昭和30年に建築された外来本館（円形建物）をはじめとする施設・設備が非常に古く、狭くなってきており、地域の基幹病院として、急速に進展する医療技術や多様化する医療需要に対応することが困難になり、地域医療の確保及び良質かつ適切な医療の提供を図るために移転新築を行います。

建設場所

豊岡市戸牧（とべら）

移転場所は、JR豊岡駅の南西約2 kmに位置する丘陵地です。

アクセス

JR豊岡駅からは、正法寺大橋^{かみかげとべら}を渡り、市道上陰戸牧線を南下し約3 kmで病院玄関に着きます。日高、出石方面からは、市道三坂納屋線から、現在工事中の戸牧トンネル（仮称）から接続します。将来は、円山大橋より接続されます。また、城崎、竹野方面からは、国道426号線に接続の市道上陰戸牧線を南下します。

今後、北近畿豊岡自動車道の計画が進むことにより、遠くからの通院も一層便利になります。

現在、建物2階の柱・壁と3階の床のコンクリートの工事を行っており、10月末の時点で約17%の工事が進んでいます。

編集後記

広報紙「ほすびたる」は、年4回（2. 5. 8. 11月）の発行を予定しており、次号からは、各病院の診療科、医療技術、新しい医療機器の紹介や専門医による健康アドバイス、国の医療制度の変革に伴う対応等を掲載していく予定です。また、住民の皆さんからの医療相談やご意見等をお聞かせいただき、ご紹介させていただくことも考えております。「ほすびたる」が、病院側からの情報発信だけではなく、当病院組合をご利用いただく住民の皆さんとの交流のかけ橋となるよう努めてまいりますので、よろしく願い申し上げます。（編集委員）

◇発行 公立豊岡病院組合 ◇〒668-8501 豊岡市立野町6番35号 ◇TEL 0796-22-6111(内線413)
◇URL : <http://www.toyookahp-kumiai.or.jp/> ◇E-mail : kikaku@toyookahp-kumiai.or.jp